平成 30 年 3 月 10 日
第 3 回委員会
【資料３】

平成 29 年度　上郷東地区まちの再生活性化委員会
こども・子育て分科会の活動について

１　経緯等

・上郷東地区まちの再生・活性化委員会運営要綱（平成 29 年５月 26 日制定）

> 第２条：委員会は、平成 28 年度に策定された「上郷東地区まちづくり構想」に基づき、上郷東地区のまちの再生・活性化に関する検討を行うために開催する。
> 第４条：委員会は、上郷東地区のまちの再生・活性化の検討を具体的に進めるため、分科会を設置することができる。

・こども・子育て分科会の目的は、こども・子育て目線でまちの魅力を伸ばす・広げるため具体的な検討を行う。

２　取組実績

(1) 上郷東地区まちの再生・活性化委員会

開催日	主な内容
第１回　　６月 18 日	委員会運営要綱の制度の説明 平成 28 年度の振り返りの報告 平成 29 年度の進め方の意見交換 分科会の設置
第２回　　11 月 25 日	各分科会活動の中間報告・意見交換
第３回　　３月 10 日	各分科会活動の年間報告 来年度の取組について

(2) こども・子育て分科会

開催日	主な内容
第１回　　７月 22 日	分科会のリーダー選出（庄戸小ＰＴＡ　森会長）、意見交換
第２回　　10 月 28 日	ＰＴＡへのヒアリング報告

３　取組成果

分科会での意見交換、ＰＴＡへのヒアリングから意見を集約しました。　（裏面参照）

４　平成 30 年度の取組（予定）

地域活動をしている団体や個人と意見交換します。
他の分科会と共同開催し、こども・子育ての視点で意見交換します。

	意見内容
こども・子育て	**「こどもカフェ」取組検討中（民生・児童委員）**
	「農」に触れる機会づくりを検討中（社協）
	地区センターにて「寺子屋タイム」を開催している
	庄戸サロン「すくすく」が魅力
	中高生と地域のつながりを維持する
	子育て支援の施設やサービスが充実すれば魅力になる
	子どもや孫が地域に住み続ける工夫が必要
	大学連携した学習支援ができると良い
	専業主婦が多い
	庄戸小と上郷中が連携している、進路実績が良い
	子育て環境が良い（繁華街がない）
	鎌倉等の私立中学通学圏内にあるのが魅力
	学校が近いことが魅力
	中学校が統合されたのを入居してから知った(不動産情報には旧庄戸中学校が記入されていた)
	庄戸小・上郷中の生徒が減った、上郷幼稚園の園児が減った
	中学生は地域とのつながり薄い
仕事	**小学生高学年→パート、中学生→正社員を希望する女性が多い**
	医療・介護関係の職場も、情報としてあると良い
	子どもが幼い間、女性はフルタイム勤務が難しい
	地元に働く場がほしい（主に女性）
	共働きが多い
環境・施設	**旧庄戸中後利用は影響大**
	魅力（緑が多い、閑静、土地が広い）は今も昔も変わらない
	上郷共同住宅に空き部屋がある
	上郷共同住宅に高齢の入居者が多い
	若い世代でも買いやすい価格帯の住宅があれば転入を促進できるのでは
	若い世代が街のことを考えるようにしたい
	庄戸中後利用施設（大型保育所等）⇔バス⇔本郷台駅前（サテライト）
	長倉は敷地分割できて若い世代の転入多い
	庄戸夏祭では帰省の方が多く足を運んでいる
	魅力（緑が多い、閑静、土地が広い）は今も昔も変わらない
	建築に関する制限がある
	車を運転できなくなると住み続けられるか不安、バスが少ない
	2世は交通不便を嫌い転出するケース多い
その他	多様な世代が住み続けられる住宅地としていきたい
	若い世代の意見を取り入れながら進めていきたい
	25-35歳、小学生を持つ世帯が増える方法を考えたい
	ＰＴＡへヒアリングを実施して若い世代の意見を取り入れる